



2024年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年7月10日

上場会社名 北雄ラッキー株式会社
コード番号 2747 URL <https://www.hokuyu-lucky.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桐生 宇優
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 徹
四半期報告書提出予定日 2023年7月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 011-558-7000

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の業績(2023年3月1日～2023年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	9,208	0.3	46	95.7	54	89.1	31	109.6
2023年2月期第1四半期	9,178		24	77.1	28	74.4	15	78.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	24.90	
2023年2月期第1四半期	11.88	

(注)2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。なお、比較対象となる会計処理方法が異なるため、2023年2月期第1四半期の売上高に関する対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第1四半期	17,571	5,285	30.1	4,181.91
2023年2月期	17,695	5,328	30.1	4,216.19

(参考)自己資本 2024年2月期第1四半期 5,285百万円 2023年2月期 5,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期		0.00		50.00	50.00
2024年2月期					
2024年2月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	1.7	200	82.5	210	77.0	130		102.86
通期	38,100	1.0	402	6.9	420	0.4	199	55.0	157.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期1Q	1,264,640 株	2023年2月期	1,264,640 株
期末自己株式数	2024年2月期1Q	725 株	2023年2月期	725 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期1Q	1,263,915 株	2023年2月期1Q	1,263,952 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年3月1日～2023年5月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限が緩和され、経済活動が正常に向かう動きが見られた一方、ウクライナ紛争の長期化や円安傾向の定着、物価上昇の進行などの現象が見られました。

このような状況下、当社は2024年2月期から2026年2月期までの3ヵ年中期経営計画を踏まえ、以下の項目に重点を置いて営業活動を行いました。

- ①差別化戦略としての6MD商品の強化(6MD商品政策の推進)
- ②来店頻度向上を目的とする販売力向上
- ③マーケティング力強化によるファミリー顧客層の拡大
- ④ラッキー生鮮・デリカセンターの稼働に伴う商品供給の拡大と体制の確立
- ⑤ローコスト運営の徹底と業務効率の改善による生産性向上
- ⑥財務体質の強化

①の商品政策面では、6つの商品政策の柱(6MD)のうち、特に「テイスティ・ラッキー」(よりおいしく)、「ナチュラル・ラッキー」(より安全、安心に)についてこの2点に重点を置いております。これにより、お客様に品質の差を訴求し、競合他社に対し優位を築きたいと考えております。

②③につきましては、従来のチラシ制作に加え、店頭におけるメニュー提案動画配信やSNSを使った情報発信を組み合わせることでお客様のストアロイヤリティを強化したいと考えております。お客様の利便性向上の一つの目安である、キャッシュレス決済比率は2023年5月末で62.1%となり、前年同月末の59.0%から3.1ポイント改善いたしました。ファミリー層顧客の深耕につきましては、この3月に新設したフードコーディネート部による新商品開発や、順次実施している店舗改装において、手に取りやすく、買い回りしやすい店舗づくりを行うなどの点に注力しております。

④のラッキー生鮮・デリカセンターは2021年の稼働開始以来順次稼働率を上げ、商品製造を機械化し集中することでコスト削減を実現しています。

⑤につきましては、2023年9月以降、順次各店にセミセルフ/フルセルフレジを導入する予定となっております。同時に行うキャッシュレス決済端末の入れ替えと併せ待ち時間の短縮を実現いたします。このレジ更新により経費の軽減も見込まれ、コスト体質改善も実現いたします。

⑥につきましては、前記の中期経営計画を実行することで収益力強化と自己資本比率向上等、財務体質の改善を目指します。

また、商品配送にかかる諸問題解決のため、この5月、当社を含め小売業、卸売業、配送業を行う9社が集まり「北海道物流研究会」を発足いたしました。この会は、関連各社が協力し合うことで、物流業界の人手不足問題、いわゆる「2024年問題」を回避することを目的としています。今後も加入企業が増えることが見込まれ、大きなうねりとなることで小売業における商品配送の無駄を削減し、ひいては環境問題にも貢献できる仕組みを模索いたします。

当第1四半期の売上高は92億8百万円と前年同期比30百万円、0.3%の増加となり、営業総利益も26億48百万円と前年同期比38百万円増加し、営業総利益率は28.8%と前年同期比0.3ポイント改善いたしました。

販売費及び一般管理費は、26億1百万円と前年同期比15百万円、0.6%の増加となりました。費目別では、雑給が13百万円、減価償却費が7百万円減少いたしました。水道光熱費が高止まりしているエネルギーコストを反映し52百万円増加したことによるものです。

これらの結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高92億8百万円(前年同期比0.3%増)、経常利益54百万円(同89.1%増)、四半期純利益31百万円(同109.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して1億23百万円減少し175億71百万円となりました。

その主な要因は、売掛金の増加が96百万円、商品及び製品の増加が1億19百万円あったものの、現金及び預金の減少が1億97百万円、未収入金の減少が1億34百万円であったことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して80百万円減少し122億86百万円となりました。

その主な要因は、買掛金の増加が3億66百万円、1年内返済予定を含めた長期借入金の増加が8億32百万円、賞与引当金の増加が98百万円あったものの、短期借入金の減少が13億円、未払金の減少が1億2百万円であったことなどによるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して43百万円減少し52億85百万円となりました。

その要因は四半期純利益の計上が31百万円あったものの、株主配当による減少が63百万円及びその他有価証券評価差額金の減少が11百万円であったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、2023年4月19日の「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,875,209	1,677,996
売掛金	973,072	1,069,730
商品及び製品	1,525,988	1,645,579
原材料及び貯蔵品	54,125	47,145
前払費用	88,345	101,655
未収入金	447,665	313,282
その他	10,389	12,485
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	4,974,529	4,867,608
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,398,328	11,414,182
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,472,363	△7,532,807
建物(純額)	3,925,965	3,881,374
構築物	769,020	769,020
減価償却累計額及び減損損失累計額	△629,823	△635,246
構築物(純額)	139,196	133,773
機械及び装置	2,176	2,176
減価償却累計額	△970	△1,031
機械及び装置(純額)	1,205	1,145
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△7,522	△7,522
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	515,298	432,985
減価償却累計額及び減損損失累計額	△487,519	△402,914
工具、器具及び備品(純額)	27,779	30,071
土地	6,038,177	6,038,177
リース資産	596,370	651,095
減価償却累計額及び減損損失累計額	△282,608	△250,211
リース資産(純額)	313,762	400,883
有形固定資産合計	10,446,086	10,485,425
無形固定資産		
ソフトウェア	38,766	34,426
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	56,995	52,655
投資その他の資産		
投資有価証券	202,918	192,077
出資金	479	479
長期前払費用	55,559	53,247
繰延税金資産	410,501	418,314
差入保証金	1,548,716	1,502,135
投資その他の資産合計	2,218,175	2,166,254
固定資産合計	12,721,258	12,704,334
資産合計	17,695,787	17,571,943

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,344,817	2,711,164
短期借入金	3,950,000	2,650,000
1年内返済予定の長期借入金	1,024,830	1,196,798
リース債務	112,439	133,615
未払金	449,300	347,285
未払費用	316,623	378,020
未払法人税等	66,004	40,143
未払消費税等	147,302	89,829
前受金	17,520	19,361
預り金	766,341	739,094
賞与引当金	99,197	197,282
流動負債合計	9,294,377	8,502,595
固定負債		
長期借入金	1,596,986	2,257,805
リース債務	269,009	338,897
退職給付引当金	861,392	843,183
長期預り保証金	258,458	256,994
資産除去債務	65,012	65,237
長期未払金	21,650	21,650
固定負債合計	3,072,509	3,783,767
負債合計	12,366,887	12,286,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	1,835,251	1,803,522
利益剰余金合計	4,300,251	4,268,522
自己株式	△2,054	△2,054
株主資本合計	5,291,220	5,259,491
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,679	26,089
評価・換算差額等合計	37,679	26,089
純資産合計	5,328,899	5,285,580
負債純資産合計	17,695,787	17,571,943

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	9,178,467	9,208,775
売上原価	6,636,133	6,626,484
売上総利益	2,542,333	2,582,290
営業収入		
不動産賃貸収入	67,195	65,716
営業収入合計	67,195	65,716
営業総利益	2,609,528	2,648,007
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	84,340	80,873
配送費	210,110	211,718
販売手数料	32,443	34,132
給料及び手当	459,187	452,763
賞与引当金繰入額	98,471	98,085
退職給付費用	26,339	26,209
雑給	618,700	605,414
水道光熱費	229,238	281,337
減価償却費	109,685	102,592
地代家賃	209,431	204,928
その他	507,568	502,970
販売費及び一般管理費合計	2,585,516	2,601,025
営業利益	24,012	46,981
営業外収益		
受取利息	1,258	1,046
受取配当金	4,575	4,426
受取事務手数料	3,358	3,348
助成金収入	209	603
雑収入	3,024	3,411
営業外収益合計	12,425	12,836
営業外費用		
支払利息	6,674	5,042
社債発行費償却	181	—
雑損失	835	419
営業外費用合計	7,691	5,461
経常利益	28,747	54,355
特別損失		
減損損失	1,638	2,300
固定資産除売却損	2,739	4,184
特別損失合計	4,377	6,484
税引前四半期純利益	24,370	47,871
法人税、住民税及び事業税	23,277	24,967
法人税等調整額	△13,921	△8,562
法人税等合計	9,355	16,404
四半期純利益	15,014	31,466

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。